

社会福祉法人 甲府市民生福祉会  
特別養護老人ホーム 桜井寮

# さくらんぼ通信 第13号

発行日：平成26年 3月 29日

〒400-0803 山梨県甲府市桜井町558

特別養護老人ホーム 桜井寮

電話 055-232-8261

FAX 055-231-2716

<http://www12.ocn.ne.jp/~sakurai> Eメール：sakurai-ryo.s56@ninus.ocn.ne.jp



## 利用者の作品

懐かしく  
幼き頃が  
目にうかぶ

つくしぼう  
肩を並べて  
春を待つ

谷内 様作      雨宮(美)様作

内藤 様作

坂本 様作

### 「思ひの糸」

鈴木 春子様ご家族

母が桜井寮にお世話になってから二回  
目の誕生日を迎えることができました。  
月日の流れは何と早いことでしょう。

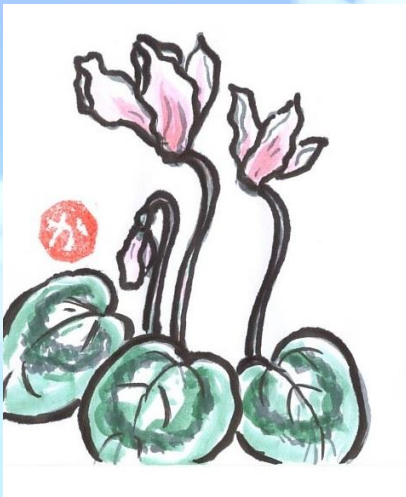
朝から晩まで畑仕事に精を出し、四人  
の子供を育ててきた母。

花を育てるのが大好きで庭にたくさん  
の花を咲かせていた姿が目には浮かびます。

面会に行くと私たちの姿を見つけ、嬉  
しそうに迎えてくれる母。

元気で穏やかに過ごしている母に逢え  
ることが、私たちの何よりの幸せです。

これからもよろしくお願い致します。



挿絵 鈴木春子様ご家族



### 『お花見ツアー』 四月四日(木)

笛吹川フルーツ公園に出掛けてきました。

到着しおやつを召し上がった後、見晴らし広場から景色を観たり、花壇の花を眺めたりし、フルーツ公園内を散策しました。

桜はもう葉桜になっていましたが、風で地面の花びらが舞い上がってきたのを見て、「きれいだねえ」と、笑顔を見せて喜んでいる姿が見られました。



### 『開寮記念祝宴』 五月十九日(日)

開寮記念祝宴も、今年で三十二回目となりました。利用者さんとご家族の方々と一緒に祝いをしました。会の中で一人の利用者さんが「そんなに長くやってるんだね。大事にしていかないとね」と話して下さいました。

余興では短い時間ではありましたが、日本舞踊とフラダンスを見て、楽しいひと時を過ごされました。



### 『映画会』 六月十三日(木)

映画会は六月と二月の年二回、本館新館合同で実施されています。

六月には島田洋七さん原作の『佐賀のがばいばあちゃん』を上映しました。

戦後の風景を懐かしむ利用者もいれば、明るいお婆ちゃんの姿に笑みを浮かべる利用者もいました。中には母親と離れて暮らす子供の淋しそうな様子を見て、涙を流す方もいらっしゃいました。百分近くの映画でしたが、多くの利用者が最後まで集中して観ていました。



### 『外出レクリエーション』

今年も、2回の外出レクを実施しました。七月には、山梨英和大学の「七夕祭」に出掛け、流しうめんや綿菓子を食べたりと、楽しい時間を過ごしました。

十一月には、甲府駅北口の甲州夢小路、エクラン、県立図書館等ウィンドーショッピングをしたり、散策しながら皆さん周りを見て、『全然変わっちゃって。連れて来てもらって良かったよ』等と話されとても喜ばれていました。



### 『夏祭り』 八月二日(木)

天候にも恵まれ、実施する事が出来ました。今年もかき氷・スイカ・焼きそばなどを出店し、利用者さんや地域の方々に大盛況でした。

他にもヨーヨー釣りや金魚すくいなどを地域の子供達や利用者の皆様も一緒になって楽しめました。

盆踊りでは竹扇会の方々がリードされ、利用者の皆様も自然とつられるように踊りの輪の中に入っていました。

余興では昨年に引き続き、御坂天雷太鼓の皆様が迫力のある和太鼓を披露して下さいました。皆さん大きな拍手をされ、感動される利用者さんも見られました。

最後には迫力のある花火を観て驚き、お楽しみ抽選会では『当たった!』等の声が会場の中から聞こえてきました。





## 『敬老の日祝賀会』九月十六日(月)

敬老の日祝賀会は、本館・新館それぞれの食堂で行なわれましたが、台風のために出席できないご家族もいらっしやいました。それでも出席できたご家族と利用者さん、職員で盛大にお祝いをする事が出来ました。

米寿・新百歳・九月の誕生者のお祝いを行い、昼食には豪華なお弁当をご家族と共に召し上がりました。

余興ではオカリナの演奏が行われ、曲に合わせて唄い会場にはきれいなメロディーが響きわたりました。

楽しい時間を過ごせたと多くの方に笑顔が見られた一日でした。



## 『ほのぼのタイム』十月十日(木)

今年のほのぼのタイムでは利用者さん達に以前、好評だったフルートの演奏会を行いました。

本館・新館合同でふれあい食堂にて、季節をあしらった和菓子を頂きました。

フルートの演奏では懐かしい曲を聴くだけでなく、タンバリンや鈴を利用者さんが持ち、一緒に合奏するなどして楽しいひと時を過ごされました。



## 『クリスマス会』十二月十六日(木)

クリスマス会は、本館・新館それぞれに楽しい時間を過ごされました。

寮長がサンタクロースの衣装に身を包み、利用者さんひとり一人にプレゼントを配りました。また、職員と一緒に歌を唄ったりゲームに参加され楽しい時間を過ごされました。『来年もまた楽しみたいね』という声も聞かれました。

\*甲運小学校との交流会が十一月二十七日に行われました。小学生による合唱や、トランプ・かるた等のゲームを一緒に行い、童心に帰った笑顔を皆さん見せていました。

\*十二月二十四日は、玄関内にてもちつきが行われました。目の前で迫力のある大きな音を立て出来上がったつきたてのもちを皆さんとても美味しそうに頂いていました。

\*正月の三日間は『正月レク』が行われました。おみくじを引き、書初めや福笑い、羽根つきの他けん玉などの懐かしい遊びを楽しみました。



## 二十六年度 年間行事予定

- ・お花見ツアー 四月七日(月)
- ・開寮記念祝賀会 五月未定
- ・映画会 本館・新館合同 六月十二日(木)
- ・買い物ツアー 七月三日(木)
- ・夏祭り 八月未定
- ・敬老の日祝賀会 九月十五日(月)
- ・ほのぼのタイム 十月九日(木)
- ・外出レク 十一月六日(木)
- ・クリスマス会 十二月十七日(水)
- ・お正月レク 一月一・二・三日
- ・映画会 本館・新館合同 二月十九日(木)
- ・外出レク 三月二日(月)

## 嘱託医師が変わりました

医務 伊東 鮎美

長年にわたり、桜井寮にて嘱託医として、利用者の健康管理に携わって頂いた許山医師が、昨年十一月を以て退職することとなりました。

その為、十二月からは、戸田医師を嘱託医として迎え、利用者の健康管理に携わって頂くこととなりました。

戸田医師は、八代町で内科のクリニックを開業する傍ら、桜井寮の嘱託医として、毎週水曜日の午前中に利用者の診察に来寮して下さいます。

温厚・気さくな性格で、四十二歳と若い医師であるため、桜井寮の医務に新しい風を吹き込んでくれることと思います。

これからも、利用者様が安全で、安心して生活を提供できますよう、桜井寮看護師一同、新たな気持ちで、利用者様の健康管理に努めて参ります。

戸田医師共々、今後もよろしくお願い致します。



## 二十五年度新入職員より

桜井寮に入社して、一年が経とうとしています。当初は一人の介護士として現場で働くことに不安な気持ちでいっぱいでした。

しかし、先輩方の丁寧な温かいご指導、また利用者さんの素敵な笑顔を見ることで頑張る糧になり、一年間とても楽しく仕事が出来ました。

これからも利用者さんが笑顔で生活を送れるように、毎日一生懸命に笑顔で頑張っていきます。

坂本 千夏

私が桜井寮で働き始めて約一年が経ちました。この一年で感じたことは、利用者の方々へ笑顔を届ける側の私の方が利用者の方々から元気や笑顔をもらっているということです。笑顔で「おはよう」と挨拶をしていたいたり、「ありがとう」と笑顔で言っていたり、ただくことが私の働く活力となっています。

まだまだ至らないところもあると思いますが、これからも利用者の方々と先輩職員の方々のご指導を賜り、皆さんに認められる職員になれるよう頑張っていきたいと思っております。

栗原 正樹

桜井寮に入社して、早くも一年が経とうとしております。一年前、何もわからず不安で一杯の私に諸先輩方が懇切丁寧にご指導、又あたたかい激励を下さったおかげで今日に至ることができました。本当に感謝の毎日です。

また、利用者さんの笑顔にはいつもホッとさせられ、元気を頂いております。利用者さんが笑顔あふれる生活が出来ますよう、利用者さんの目線に常に寄り添える自分に成長して参ります。

稲垣 昭子

## 防災訓練について

高齢者福祉施設では、年に2回の防災訓練を行うことが義務付けられています。

今年も桜井寮では八月と十一月に行われました。

八月は日中に、消火栓からホースを伸ばしての放水訓練と、消火器の取り扱い説明を行いました。

十一月は夜間に、連絡網を使用した非常招集訓練、入所者の搬送方法の実践、消火器を使用した初期消火訓練を地域の皆様と一緒に行いました。

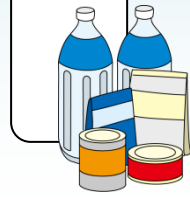
毎年訓練を行い、防災意識を高めることで非常時にも落ち着いて行動し、入所者の安全を確保出来るよう心掛けています。

# 食事便り

担当 栄養士

今回の食事便りは防災の日、クリスマス会  
の食事について取り上げていきます。

## 防災の日



防災の日には非常食品を用いた献立を提供  
しています。非常時の雰囲気に合わせて、食器  
具も使い捨て容器を用い、非常食を体験する  
場にもなっています。

食器から食品の味付け、固さ等普段と全く  
異なるため、利用者様からは「たまにならない  
いね」といった意見が聞かれました。食器も  
使い捨ての発砲容器は麻痺がある方には非常  
に使いづらい様子も見受けられます。災害時  
の対応は大きな課題になると考えられます。

また、嚥下が困難な方に向けてペースト状  
になっているレトルトのおかずやお粥し  
たりんご缶を用意しています。



桜井寮では災害時にも食事が提供できる

よう、非常食品の備蓄がされています。平成二  
十六年二月十四日の大雪時には数日間施設へ  
の食材配達の間合わず、この非常用食品を用  
いました。幸い、電気・ガスは使用可能だった  
ため、非常食は副菜のみを用い、主食は温かい  
おじやを提供しました。

大雪後は食材業者の協力を経て十七日には  
通常献立を提供することができました。

今回の大雪で非常食の重要性と、その対応に  
ついて考えさせられました。

防災の日献立



- ・ごはん
- ・秋刀魚の甘露煮
- ・切干大根の煮付け
- ・味噌汁・フルーツ



- ・おかゆ・鯛梅煮
- ・ウグイス豆
- ・味噌汁
- ・おろしリンゴ



## クリスマス会



毎年十二月に行われるクリスマス会で通常  
の食事とは雰囲気を変え、骨付きチキンや握  
り寿司、シャンメリー等を提供しています。  
食事形態も鶏肉ならば骨付き、スライス、カ  
ット、超キザミ、ペーストと段階を作り利用  
者様の嚥下状態に沿った食事形態の提供に取  
り組んでいます。



- クリスマスメニュー
- ・にぎり寿司
  - ・骨付きチキン
  - ・大根の煮物
  - ・ポテトサラダ
  - ・テリーヌ・梅
  - ・梅のケーキ

—最後に—

毎日食べる食事ですが、今回大雪の災害を体験し  
ていかに流通で私たちの生活が成り立っているか  
を感じました。予測できる範囲ですが、非常事態に  
備えられるよう対策を考案していきたいと思いま  
す。

時代の要請に対応した施設運営を目指して

日頃より利用者のご家族の皆様を始め、ボランティア・地元関係者など多くの皆様には、寮運営に温かいご支援をいただいておりますことを心よりの感謝申し上げます。

急速に進む少子高齢化に伴い、社会保障制度を持続可能なものとするため、介護保険制度の改革が進められています。

この為、施設入所利用者の中重度者への重点化や負担の引き上げなど、介護サービスの効率化や重点化とともに、地域包括ケアシステムの構築に伴い、特別養護老人ホームは、地域の拠点として在宅介護サービス等の地域支援にも積極的に展開していくことが求められています。

寮では、消費税アップや諸物価の高騰により施設経営が非常に厳しくなることが予想されますが、介護保険制度の新しい時代の要請に対応しながら「明るく楽しく」を理念に、地域に開かれた信頼される施設づくりの意を注ぎ、利用者一人ひとりの尊厳を尊重し、心豊かで快適な生活ができるよう、より良い介護を目指して職員一同一丸となってサービスの充実に全力を尽くす所存でありますので、引き続き格段のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

社会福祉法人 甲府市民生福祉会

特別養護老人ホーム桜井寮

寮長 竹村 正美

## ボランティア紹介

甲運地区愛育会

ガールスカウト第二団

和よしの会

深沢（フルート演奏）

竹扇会

御坂天雷太鼓

南西第一団地自治会

甲運小学校生徒

Halau Kawai ola

Ika hikina

メイプル

敬称は略させていただきます。

ご支援、ご協力に厚く感謝

申し上げます。

## ボランティア募集

寮内外清掃

車椅子清掃

利用者とのふれあい

縫い物

レクリエーション

など

お待ちしております。

広報・ボランティア部会

## 編集後記

広報部会長

利用者様や、ご家族の皆様にご協力を頂きながら毎年発行を続けていますこの通信も13号となりました。

普段の生活や行事の様子などホームページの更新も再開しておりますので、通信とあわせてご覧頂くと幸いです。

楽しんでいただける広報誌として続けていきますようこれからも努力してまいります。

